

週替わりで一息!!

第2067第78版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

大寒(だいかん) 寒さが最も厳しくなる頃。『暦便覧』では、「冷えゆることの至りて甚だしきときなれば也」と。一年で一番寒さの厳しい頃。「三寒四温」という言葉のように、寒い日が三日続くと、その後の四日は暖かくなり、寒い中にも少しだけ春の気配を感じられます。逆の見方をすれば、これからは暖かくなると言うことである。春はもう目前であります。

和暦コラム歴生活・びお・ウィキペディアより

末候「一月三十日～二月三日」 鶏始乳 (にわとりはじめてとやにつく)

72

「鶏が卵を産み始める」 鶏が春の気を感じ、たまごを産み始める頃。自然な状態の鶏は、日照時間が長くなるにつれ、産卵率が上がっていくため、春から夏にかけてたくさん卵を産みます。

大寒は、冬の最後の節気にあたり、鶏始乳(にわとりはじめてとやにつく)は、その大寒の末候。乳と書いて、「とやにつく」と読みます。春の気を感じたニワトリが、鳥屋に入って卵を産む時候をいいます。四季の移り目をそれぞれ節分といっていました。今は立春の前日だけを節分と呼んでいます。節分には、1年の終わりに豆をまいて鬼を追い払い、福を招き入れます。成田山では鬼がないので福は内・福は内となります。

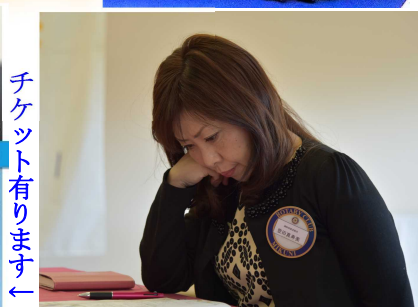
20年前の主なニュース (1997年27日～1997年2月2日 福井新聞縮刷版より)

- ・「中部縦貫道」大野ー油坂間約35kmが国の高規格幹線道路として昇格
- ・重油汚染嶺南沿岸部でボランティア3000人が重油回収にあたった。

「本日1月20日の金曜日」 職業奉仕は、ロータリーの「金看板」である。職業奉仕委員長の卓話です。



「職業奉仕」今回は盆栽のお話です。盆栽には表と裏があり、枝の流れ具合や方向性とバランスを考え、観て楽しめるよう工夫をします。右は約百万円の価値あり



この姿もうすぐ立春だよと
咲きを観じさせているよう

越前和紙職人の剛生と韓国から来たヨナ

今日の一枚・ペンとメモ帳
よく似合っています!

チケット有ります!